

産地パワーアップ事業 事業評価一覧

○ 産地パワーアップ計画

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標		達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						年度	現状	年度	目標			
1 熊本地域農業再生協議会	1	熊本市飽田地区	レタス	【生産支援事業】 被覆資材トンネルハウス導入等	販売額の10%以上の増加	H27	314,600 円/10a	R1	346,580 円/10a	-400.2%	全国的な相場安のため出荷基準が厳しくなり、通常出荷できるサイズがNGになったため廃棄量が増え、さらに、契約先の購入量を上回る出荷があったことで、出荷が止まったため、出荷量が減少した。よって、市場が求める規格・品質を満たしておらず、また需給バランスの崩れにより販売額が低迷していることから、播種時期や品種の見直しにより収量・品質の向上を図るよう指導を行う。	暖冬年であったため、集中出荷による価格低迷が生じている。また、生産の不安定による栽培面積の伸び悩みもみられる。今後は、播種時期や品種等の見直しなどを引き続き行い、実需者ニーズにあった品質や量の実現させるとともに、出荷先の新規開拓も図るよう指導を行う。
2 熊本地域農業再生協議会	5	天明地区	ミニトマト	【整備事業】 生産技術高度化施設 低コスト耐候性ハウス 4棟、9,877㎡ 自動開閉装置、カーテン施設等	10a当たりの販売額の10%以上の増加	H28	5,007,693 円/10a	R1	5,509,015 円/10a	235.4%	施設導入等で産地の単収が増加している。単価安があったものの、目標達成している。地域の生産性・収益性向上のモデル的取組みとして、引き続き産地での技術普及を図る。	産地での生産量が計画より増加できたため、単価安があったものの目標達成している。高度な栽培技術の実現が産地強化につながっており、事業効果が発揮されている。
3 宇城市農業再生協議会	1	宇城市	トマト	【生産支援事業】 高性能被覆資材導入等	販売額の10%以上の増加	3年平均(H26~H28)	1,495,423 円/10a	R1	1,655,815 円/10a	-136.1%	R1年度産については、定植後の高温の影響により、小玉傾向で推移した為、出荷量の減少とともに単価安となった。また、高温期の着果不良により出荷の遅れや病害(疫病・灰色カビ等)が発生し、出荷量の伸び悩みが見られた。今後は、高性能被覆資材を有効活用及び早期防除体系の確立を図り、高温期の対策をJA指導員及び県農業普及・振興課担当職員と連携を図りながら高品質・高収量栽培を目指す。	当該産地の10a当たりの販売額は、計画時より上回っているが、他産地の販売単価が高めに推移したことで、目標未達成となっている。今後は、関係機関と連携し、導入した高性能被覆資材の有効活用や病害対策徹底に取組み、収量増加と単価回復による目標達成を図る。
4 宇城市農業再生協議会	2	宇城市 宇土市 熊本市(城南町、富合町)	ミニトマト	【生産支援事業】 高性能被覆資材導入等	販売額の10%以上の増加	3年平均(H26~H28)	1,935,937 円/10a	R1	2,142,666 円/10a	-42.5%	R1年度産については、定植後の高温の影響により、小玉傾向で推移した為、出荷量の減少とともに単価安となった。また、高温期の着果不良により出荷の遅れや病害(疫病・灰色カビ等)が発生し、出荷量の伸び悩みが見られた。今後は、高性能被覆資材を有効活用及び早期防除体系の確立を図り、高温期の対策をJA指導員及び県農業普及・振興課担当職員と連携を図りながら高品質・高収量栽培を目指す。	当該産地の10a当たりの販売額は、計画時よりやや伸びているが、他産地の販売単価が高めに推移したことで、目標未達成となっている。今後は、関係機関と連携し、導入した高性能被覆資材の有効活用や病害対策徹底に取組み、収量増加と単価回復による目標達成を図る。
5 甲佐町地域農業再生協議会	1	甲佐町	ニラ	【整備事業】 ・出荷調整機の導入による品質の向上 ・栽培管理の徹底による反収の向上	10a当たりの販売額の10%以上の増加	H28	1,089,087 円/10a	R1	1,253,964 円/10a	-3.3%	冬の強風被害で収量が減少し、農家数の減少にもつながった。また、全国的な葉物野菜の安値傾向により10a当たり販売額が減少した。	気象災害等の発生、単価が重なり、収量・単価ともに目標に達していない。まずは収量確保を図るため、関係機関と連携して栽培管理技術の徹底を指導する。
6 玉名市地域農業再生協議会	1	横島干拓	キャベツ	【生産支援事業】 規模拡大に伴う農業機械の導入等 H29年度導入 【生産支援事業】 ・移植機、ブームスプレーヤー、フレールモア、畦塗機、スタルブカルチ、サブソイラー、トレーラー、トラクター(60PS)のリース導入 【整備事業】 集出荷貯蔵施設整備	販売額の10%以上の増加	H27	199,206 円/10a	R1	230,445 円/10a	128.1%	作付面積、販売額共に目標数値を上回ることができた。取り組んだ事業について十分な効果が出たといえる。	事業効果で目標を上回る面積拡大と販売金額が達成できている。露地野菜の規模拡大や収益向上事例として、他産地への波及を図っていく。
7 長洲町農業再生協議会	2	長洲町	小麦	【生産支援事業】 ・トラクター、播種機等、小麦栽培管理用機械の導入等 追加 H29年度導入 【生産支援事業】 ・トラクター、アッパーローター、ロータリーカルチ、ブームスプレーヤー導入	販売額の10%以上の増加	H27	4,267 円/10a	R1	4,756 円/10a	539.5%	平成30年度の麦作面積 295.1ha 令和2年度の麦作面積 297.4ha 機械導入を行ったことにより、町内麦作面積を向上することに繋がった。また、機械導入により、単収の向上による販売額の増加がみられ、目標を達成することができた。	機械を導入することによって、排水対策や適期作業が可能となったことで単収の増加や販売額の増加につながった。ここに達成していない生産者に対して、関係機関一体となり支援していく。
8 水俣・芦北地域果樹産地協議会	1	芦北町 津奈木町 水俣市	不知火類	【生産支援事業】 パイプハウス導入等	販売額の10%以上の増加	※H26	253,729 円/10a	R1	290,894 円/10a	298.0%	目標を超える販売実績となったがヤケ果等の発生により収量の減少があった。そのため今後は、天候に左右されない品質の向上対策を行うように指導していく。	令和元年度は秋冬期の高温多雨により果皮障害等が多くみられたが、無加温栽培においては発生が軽度で、品質向上等にもつながり、事業実施の効果がみられている。このことにより販売額目標を達成した。
9 あさぎり町地域農業再生協議会	4	上川南地域	茶	【生産支援事業】 ・乗用型茶摘採機 1台、トラックコンテナ1基リース導入	販売額の10%以上の増加	H28	297,300 円/10a	R1	327,200 円/10a	305.8%	摘採機を導入したことで、作業効率化が図られ適時収穫量の増加により単収の販売額のアップを達成することができた。	摘採機の導入により、効率的かつ適期収穫が図られたため、品質が向上し単収の増加につながっている。
10 JAあまくさ果樹産地協議会	1	天草市	不知火類	【生産支援事業】 パイプハウスの導入等	販売額の10%以上の増加	H27	502,189 円/10a	R1	562,517 円/10a	272.5%	露地から無加温へ栽培タイプが移行したことにより秀品率の向上、増収となり販売額も向上している。	令和元年度は秋冬期の高温・多雨により、露地不知火類の腐敗、品質低下等が発生したが、無加温栽培では降雨の影響が少なく事業実施の効果が発揮されている。価格補正後の数値では目標を達成した。
11 本渡五和地区果樹産地協議会	1	天草市	不知火類	【生産支援事業】 パイプハウスの導入等	販売額の10%以上の増加	H27	549,683 円/10a	R1	616,000 円/10a	139.0%	令和元年度は、秋期の降水量が多く果実糖度の上昇が鈍く、合格率の低下となった。また、新型コロナウイルスの影響により、前年度に比べ販売単価が低くなったが、価格補正を行い、補正後の実績は目標を達成することが出来た。	令和元年度は秋冬期の高温・多雨により、露地不知火類の腐敗、品質低下等が発生したが、無加温栽培では降雨の影響が少なく事業実施の効果が発揮されている。価格補正後の数値では目標を達成した。